

## 授業改善等に関する報告書（2020年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教職実践演習（中・高）	菅沢 茂	<p>コロナ禍の中で、オンデマンド型の遠隔授業が中心となりましたが、皆さん最後まで発表資料の作成に余念なく、かつ発表と意見交換も真摯に行うことができました。当初の目標が十分に達成できたものと考えます。</p>
教育相談	櫻井 成美	<p>学生の皆さん、「教育相談」の授業、本当にお疲れ様でした。オンデマンド型の授業だったため、お会いする機会がなく残念でしたが、提出していただいたレポートから、一人一人が授業や課題に丁寧に向き合ってくださっている様子が伝わりました。</p> <p>授業アンケートについては、17名中5名の回答であり全体の傾向を把握することは難しかったため、同時期に授業内で感想を書いていただいた内容と合わせてコメントをしたいと思います。</p> <p>授業についてはアンケートやご提出いただいたレポートから、十分に理解できていた方が多かったように思います。また、オンデマンド型の授業であったため、ディスカッションはできませんでしたが、レポートへのコメント、皆さんに書いていただいたレポートの一部共有などを通して、できるだけ双方向的な授業に近づけることは出来たのではないかと感じています。改善点としては、課題の多さの負担を挙げた方が多かったため、次年度以降はもう少し負担が少ない形にするよう検討してまいります。なお、来年度は対面授業を予定しており、対面の場合は課題の多さはだいぶ解消できます（授業内に課題を行ったり、ディスカッション等が中心になるため）が、もし来年度も感染状況によりオンライン授業をせざるを得ない状況の場合は、やはり課題提出が評価の中心になるため、この場合は例えば予習課題と復習課題を同時に課す回はレポートの分量をなるべく少なめにする、などの工夫を行いたいと考えています。</p> <p>半年間ありがとうございました。これからも教職の授業等頑張ってください。</p> <p>櫻井成美</p>
教育方法・技術論	宮脇 郁	<p>この科目をZoomで実施するのは初めてでしたので、私としても手探りの状態で進めていて、受講生の皆さんにどの程度メッセージが届いているのか心配でしたが、理解度、満足度ともにまずまずの評価をいただけて、一安心しました。課題が多い上に模擬授業も実施してもらおうということで、受講生の皆さんにとっては少し大変な授業だったのではないかと思います。ほとんどの皆さんは欠席回数が少なく、課題もきちんと提出していて、とてもがんばっていたと思います。模擬授業もZoomで行ってもらいましたが、皆さんそれぞれ工夫してやっていたので、私自身も勉強になりました。自由記述の回答を見ても、模擬授業が好評でしたので、今後どのような形式の授業であっても、模擬授業は取り入れていくつもりです。また、今後は対面にせよ遠隔にせよ、授業の双方向性をより高めていきたいと思っています。</p>
教職研究 e	中村 一哉	<p>少人数での授業でしたが、よいチームワークで相互に内容を深め合う授業ができたことは、皆さんの努力の成果だと思っています。双方向によるオンデマンドの授業であると感じさせない、対面に近い形で毎回の授業を進めることができました。教員採用試験という一人一人の目標あつての学修で、この経験が今後の試験対策につながっていくことを期待しています。</p>
教職研究 b	菅沢 茂	<p>コロナ禍の中で、オンデマンド型の遠隔授業が中心となりましたが、皆さん最後までテキストをよく解読し、課題レポートや論作文や模擬面接の回答を熱心に推敲して再提出した結果も見事でした。当初の目標が十分に達成できたものと考えます。</p>
国語科教育法（4）	渡邊 重人	<p>2020年度は、アンケートの回答をお願いした時期が遅かったため、データに偏りが生じてしまいました。当該区分平均より低かった項目については、これをより高めるよう工夫する予定です。具体的には、単元設定の理由について十分に検討し、授業を構想し、マイクロティーチングでの実践と振り返りができるようにします。そのためには、各段階での作業手順の明確化を図り、疑問点などについてもmanabaやGoogle Classroomで教員と履修者で共有できるようにする所存です。</p>
国語科教育法（1）	渡邊 重人	<p>2020年度は、アンケートの回答をお願いした時期が遅かったため、データに偏りが生じてしまいましたが、以下に改善点を二つ記します。</p> <p>予習復習時間については、教材研究、過去の実践例の検討、単元設定、授業構想、音読、発問や板書の計画などにより時間を割くようお願いします。例えば、2020年度は「走れメロス」を教材として模擬学習指導案を作成してもらいましたが、それ以外の事例研究と実践で扱った教材についても学習指導案が作成できる程度の予習復習をしましょう。教材研究や学習指導案の作成には、ある意味「慣れる」ことも肝要だからです。</p> <p>授業の満足度を高めるため、質問をしやすい環境づくりをします。対面授業と異なり、疑問や質問が少なかったように感じました。質問に関しては、manabaの個別指導コレクションで対応しましたが、Gmailでも質問できることの周知を初回にする予定です。</p> <p>なお、2020年度はZoomやMeetの活用に関して行き届かない点があったことをお詫びします（操作や著作権関連で不備がありました）。</p>

[2020（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語科教育法（４）	中山 誠一	コロナ禍ということで、対面授業が叶わなかったにもかかわらず、履修いただいた学生の皆さんのご協力により、なんとか最後まで授業を進めることができました。まずはご協力に感謝申し上げます。今後はご指摘いただいた点を踏まえて、授業改善に取り組みたいと思います。
英語科教育法（１）	中山 誠一	コロナ禍ということで、対面授業が叶わなかったにもかかわらず、履修いただいた学生の皆さんのご協力により、なんとか最後まで授業を進めることができました。まずはご協力に感謝申し上げます。今後はご指摘いただいた点を踏まえて、授業改善に取り組みたいと思います。
英語科教育法（３）	津田 ひろみ	アンケートのご回答ありがとうございました。 後期の進め方の方が皆さんやりやすく、また学びが深まったと伺い、ほっとしました。前期は急なオンラインへの変更うまく対応できず、その結果、皆さんに重い課題を課してしまい申し訳ありませんでした。後期の授業後のリアクションペーパーも振り返りの手段として良かったようですね。私もとても参考になりました。ありがとうございました。 後期のパワポはたぶん分かりやすかったのではないかと思います。ハンドアウトは分かりづらいところがありました。来年度は改善の余地があると考えています。 来年度は対面授業になります。火曜日２限です。ぜひ、顔を見せてください。直接お会いできるのを楽しみにしています。
教育方法・技術論	宮脇 郁	この科目をZoomで実施するのは初めてでしたので、私としても手探りの状態で進めていて、受講生の皆さんにどの程度メッセージが届いているのか心配でしたが、理解度、満足度ともにまずまずの評価をいただけて、一安心しました。課題が多い上に模擬授業も実施してもらおうということで、受講生の皆さんにとっては少し大変な授業だったのではないかと思います。ほとんどの皆さんは欠席回数が少なく、課題もきちんと提出していて、とてもがんばっていたと思います。模擬授業もZoomで行ってもらいましたが、皆さんそれぞれ工夫してやっていたので、私自身も勉強になりました。自由記述の回答を見ても、模擬授業が好評でしたので、今後もどのような形式の授業であっても、模擬授業は取り入れていくつもりです。また、今後は対面にせよ遠隔にせよ、授業の双方向性をより高めていきたいと思っています。
教職実践演習（中・高）	清田 夏代	学生による評価の結果については概ね納得している。今年度はzoomによる双方向授業での実施となったが、次年度については対面授業で実施する予定である。資料の提示方法など、今年度の工夫をさらに改善していきたい。
美術科教育法（４）	中村 一哉	後期は対面での模擬授業ができてよかったです。その中で、授業展開や指導の工夫については学修を深めることができましたが、少人数での模擬授業でしたので、その経験がそのまま教育実習につながるかどうか課題になります。その点を意識しながら、4年での「教育実習」の授業に臨んでほしいと思います。
美術科教育法（１）	中村 一哉	美術科教育法（１）では、美術教育の基礎を学ぶとともに、教材研究を中心に授業を展開してきました。毎回の事前の課題作成は大変だったと思いますが、皆さんがよく準備して授業に臨んだ成果が、授業での発表や相互の共有を通して感じ取れました。全てオンデマンドの授業で、十分にフィードバックできなかった部分については、対面で行われる美術科教育法（２）の授業の中で補っていきたいと思っています。
教職実践演習（中・高）	菅沢 茂	コロナ禍の中で、オンデマンド型の遠隔授業が中心となりましたが、皆さん最後まで発表資料の作成に余念なく、かつ発表と意見交換も真摯に行うことができました。当初の目標が十分に達成できたものと考えます。
教育方法・技術論	宮脇 郁	この科目をZoomで実施するのは初めてでしたので、私としても手探りの状態で進めていて、受講生の皆さんにどの程度メッセージが届いているのか心配でしたが、理解度、満足度ともにまずまずの評価をいただけて、一安心しました。課題が多い上に模擬授業も実施してもらおうということで、受講生の皆さんにとっては少し大変な授業だったのではないかと思います。ほとんどの皆さんは欠席回数が少なく、課題もきちんと提出していて、とてもがんばっていたと思います。模擬授業もZoomで行ってもらいましたが、皆さんそれぞれ工夫してやっていたので、私自身も勉強になりました。自由記述の回答を見ても、模擬授業が好評でしたので、今後もどのような形式の授業であっても、模擬授業は取り入れていくつもりです。また、今後は対面にせよ遠隔にせよ、授業の双方向性をより高めていきたいと思っています。
教職実践演習（栄養）	清田 夏代 白尾 美佳	この授業については、前半の教職部分を担当した。学生による評価の結果については概ね納得している。今年度はzoomによる双方向授業での実施となったが、次年度については対面授業で実施する予定である。資料の提示方法など、今年度の工夫をさらに改善していきたい。

[2020（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教育制度（栄養）	清田 夏代	学生による評価の結果については概ね納得している。今年度はzoomによる双方向授業での実施となったが、次年度については対面授業で実施する予定である。資料の提示方法など、今年度の工夫をさらに改善していきたい。
教育原理（栄養）	菅沢 茂	コロナ禍の中で、オンデマンド型の遠隔授業が中心となりましたが、皆さん最後までテキストよく解読し、小テストや期末考査にも熱心に回答しました。当初の目標が十分に達成できたものと考えます。
教職実践演習（中・高）	清田 夏代	学生による評価の結果については概ね納得している。今年度はzoomによる双方向授業での実施となったが、次年度については対面授業で実施する予定である。資料の提示方法など、今年度の工夫をさらに改善していきたい。
教育方法・技術論	中村 一哉	15回の授業を、オンデマンド、双方向、対面と3種の方法で展開しましたが、その経験自体を教育方法の学びの体験として受け止めてくれることを願っています。特に、対面で行った模擬授業については、どのグループもよく準備して臨み、色々な視点から授業の在り方を考えていくことができよかったですと思っています。今後の指導法の授業で、さらに具体的に発展させてほしいと期待しています。
教職実践演習（中・高）	菅沢 茂	コロナ禍の中で、オンデマンド型の遠隔授業が中心となりましたが、皆さん最後まで発表資料の作成に余念なく、かつ発表と意見交換も真摯に行うことができました。当初の目標が十分に達成できたものと考えます。
教育方法・技術論	宮脇 郁	この科目をZoomで実施するのは初めてでしたので、私としても手探りの状態で進めていて、受講生の皆さんにどの程度メッセージが届いているのか心配でしたが、理解度、満足度ともにもまずまずの評価をいただけて、一安心しました。課題が多い上に模擬授業も実施してもらうということで、受講生の皆さんにとっては少し大変な授業だったのではないかと思います。ほとんどの皆さんは欠席回数が少なく、課題もきちんと提出していて、とてもがんばっていたと思います。模擬授業もZoomで行ってもらいましたが、皆さんそれぞれ工夫してやっていたので、私自身も勉強になりました。自由記述の回答を見ても、模擬授業が好評でしたので、今後もどのような形式の授業であっても、模擬授業は取り入れていくつもりです。また、今後は対面にせよ遠隔にせよ、授業の双方向性をより高めていきたいと思っています。